



校友会報

Contents

- 2 校友会ニュース
- 4 校友ネットワーク
平成21年度関西福祉大学公開講演会のお知らせ
- 5 研究室より
- 6 キャンパスニュース
- 7 サークル紹介
- 8 私と仕事
- 10 校友インタビュー
- 11 平成20年度事業報告・収支決算
平成21年度事業報告・収支予算
- 12 インフォメーション



関西福祉大学
Kansai University of Social Welfare



第6回 ホームカミングデー開催



恩師との 個別相談会開催

日時 平成21年10月24日(土)
13時～17時

就職して年数の経過していない7～9期生の方を対象として、「仕事のことで悩んでいる」「今後のキャリアアップについて考えたい」「資格について相談したい」など先生方に相談する機会をもうけました。事前に7名の卒業生の方から申し込みがあり、ご対応いただいた先生方の研究室で、学生時代の思い出話に花を咲かせながら、近況についての報告や相談を行いました。

汐風祭に併せて開催しているホームカミングデーも、今年で6回目を迎えました。恒例となった写真撮影や、関福まんじゅう、喫茶タイムのドリンク券、模擬店金券を配布し、訪れた卒業生の方々に母校でのひとときを楽しんでいただきました。

10月24日・25日の2日間で約200名の卒業生が訪れ、校友会館内に設置したメッセージボードには、記念撮影したボラロイドに写った卒業生のたくさん笑顔が貼付されていきました。

その写真を見ながら、再会した友人たちと思い出話や近況を語り合う姿が見られ、違う仕事をしていても、離れていてなかなか会えなくても、親になっても、同窓生の繋がりがお互いの支えや励みになっていくことが感じられました。

また、今年からホームカミングデーの受付を在学生に担当していただき、遊びに来た卒業生と久々に会って会話が弾む場面もありました。

平成21年度

校友会総会 が開催されました

平成21年10月25日(日)、校友会館2階校友会館ホールにおいて平成21年度校友会総会が開催され、次の議題が審議、承認されました。

- (1)平成20年度事業報告
- (2)平成20年度収支決算報告
- (3)平成20年度収支決算監査報告
- (4)平成21年度事業計画
- (5)平成21年度収支予算
- (6)新役員選出、役員改選結果報告



個別校友会実施報告

関西福祉大学PSWの会 講演・交流会

平成21年10月24日(土) 13:00～16:00

講演 **法改正を読む** ～障害支援区分、相談支援、地域生活支援事業の今後～

講師 **谷口 泰司 先生**(関西福祉大学社会福祉学部准教授)

昨年開催した、関西福祉大学PSWの会発足記念講演・交流会に続き、今年度も大学祭に合わせて講演・交流会を開催し、卒業生・在学生含め21名の参加がありました。

今回ご講演いただいた谷口先生より、具体的な法改正の資料をもとに今後の地域支援のあり方についてお話を伺うことができ、PSWが今後どのようなスタンスを取って行動していくべきなのかを考えることができました。

また、講演終了後には先生方を交えて卒業生・在学生の交流会を行い、卒業生が活躍している様子や職場で普段悩んでいることについてなど様々な話し合いが行なわれ、有意義な時間を持つことができました。

今回の開催にあたり、日時の都合で参加できなかった方が多くいたと聞きました。なるべくたくさんの方に参加していただくことのできる会を目指して、今後も活動していきたいと考えております。
(5期生 藤井 宏昭)



卒業生対象国家試験対策セミナー開催報告

開催日時：平成21年9月27日(日) 13:00～15:00

開催場所：校友会館2階ホール

講師：平松正臣教授

参加者数：29名

卒業生の社会福祉士国家試験受験の学習支援として、科目変更に係る留意点や出題傾向、学習の仕方など国家試験対策全般について平松教授にご講演いただきました。参加した卒業生からは、科目が増えることに不安を感じていたが、新カリキュラムの説明が分かりやすく、重要な点が理解できたといった声が聞かれ、満足度の高いセミナーとなりました。

校友会ホームページやBikita、校友会報などで卒業生も受験可能な模擬試験の日程や、国家試験の受験手続開始日程などの情報を引き続き掲載していきますので、随時ご確認ください。



ご案内

卒業生への就職サポート

卒業後も、引き続きキャリア開発室にて進路・就職相談を行っています。直接大学に来られる際には、事前にキャリア開発室スタッフまでご連絡ください。

また、大学に届く求人情報をインターネット上で検索・閲覧できるシステムを導入しました。

卒業生が応募可能な求人も本学に到着次第随時掲載しています。

閲覧を希望される方は、卒業生閲覧用IDとパスワードを配布しますので、メールもしくはお電話でキャリア開発室までお問い合わせください。



お問い合わせ先

関西福祉大学 キャリア開発室
TEL: 0791-46-2847
E-mail: career_kusw@kusw.ac.jp

校友会会員限定コミュニティサイト

ビキタ
Bikita



QRコード



校友会会員間のコミュニケーション・ツールとして開設したホームページ「Bikita」が携帯電話からも利用できるようになりました。

*詳しくはトップページ(<http://www.bikita.jp/>)からフラッシュ画面をクリックして、紹介ページをご覧ください。

携帯電話から直接アクセスする場合は<http://www.bikita.jp/m/>となります。

公開にあたり、パソコンサイトのすべての機能を利用できるわけではありませんが、所属する同窓会からのお知らせや個人向けコンテンツに対応しています。

今後も、同窓のみなさんの交流を助け、深めることができるよう更なるバージョンアップを重ねていく予定です。ぜひご利用ください。

今春ご卒業された9期生の方については、今回IDとパスワードを同封しております。それ以前にご卒業された方についてはすでに送付しておりますので、お手元に届いていない、紛失したので再発行して欲しいなどのお問い合わせは校友会事務局までお願いいたします。

校友ネットワーク



武田 拓也さん

6期生(2005年度卒業)

株式会社メッセージ
アミーユ兵庫柳原
ケアアドバイザー(施設管理者)

社会人になり3年が経ちました。私は現在、有料老人ホーム「アミーユ兵庫柳原」で管理者として働いています。1年目は介護スタッフとして、最初は排泄介助や入浴介助など言葉は知っても、実際にどうしたら良いのかわからない状態でしたが、先輩スタッフや入居者様に指導して頂きながら介

護の基本を学び、2年目からはケアリーダーとして入居者様に毎日を楽しく過ごしていただけるよう、スタッフを指導しつつ、また協力してもらいながら現場で楽しくケアを行っていました。

働く中で、腰が痛くなることもあり、夜勤は眠くて仕方がなく、食事の前は入居者様の誘導や援助で忙しいなどなど。辛い事はたくさんありますが、入居者様の笑顔とありがたの言葉をいただくことに響き嬉しく、また明日からも頑張ろうという気持ちになりました。

今年からは入社当初から目標としていた管理者として、現場からは少し距離が開いてしまった感が



中元 修平さん

1期生(2000年度卒業)

Patisserie S
オーナーパティシエ

幼少の頃から漠然と将来の仕事として飲食関連の仕事を考えていました。その夢は大学在学中アルバイトをしていた『焼肉の館』にて確信へと変わり、自分が30歳になる時には店を持ちたいと言う目標へと変わりました。その後、神戸にてフランス食文化の世界に触れる機会を得て、フランス菓子の世界に生きることを決め、東京での仕事の

際に、その世界での職人として人生を懸けるようになりました。

関西福祉大学を卒業してからの8年間、とても厳しい『食』の世界での修行を続け多くの決断をしながら、2009年2月17日に自分の店を持つことができました。

そして開店後の現在は、店の経営者としての責任、仕事に全力で取り組む毎日です。自分の中の夢は目標であり、5年後・10年後の自分を想像しながら取り組んできました。『お菓子』の世界では特に、夢と現実があまりにもかけ離れており、失望し挫折し多くの人が夢を夢のまま終わらせてしまいます。表向きは華やかな美味しく甘い世界ですが、現実の裏の仕事は寒い仕事

場での長時間の立ち仕事、休日も賃金も少なく、友人と遊ぶことはおろか家族と過ごす時間もほとんどありません。

福祉の分野の仕事も、特別職です。世の中の多くの仕事はスペシャリストが求められています。その技術を得るためには、とても過酷な現実がついて回ります。夢に向かう方々が心して向かわれる事を願いながら、またその先に光が見つかることを願いながらこの文章を書かせていただきました。

最近では、インターネットにてPatisseries京都の検索すると多くの評価を頂いております。皆様も京都にお越しの際は是非お立ち寄り頂き、声を掛けてください。

平成21年度

第4回関西福祉大学公開講演会のお知らせ

主催：関西福祉大学 共催：関西福祉大学教育後援会

演 題：「スポーツと健康～家庭で出来る簡単健康法～」

開催日時：平成22年2月25日(木) 14:00～(90分程度)

開催場所：学内大教室(A100)

講 師：三屋 裕子氏 現スポーツプロデューサー/筑波スポーツ科学研究所副所長
(元バレーボール日本代表選手)

筑波大学大学院修士課程コーチ学専攻終了。中学校の頃よりバレーボールを始め、八王子実践高校、筑波大学、日立で中心選手として活躍。全日本代表ではロサンゼルス五輪で銅メダルを獲得。その後、かねてからの希望であった教職の道に転身。全国各地でのバレーボール教室、講演会のほか、テレビ、ラジオなど幅広く活動、財団法人日本バレーボール協会理事や社団法人日本プロサッカーリーグ理事、福井ふるさと大使などもつとめる。
TBS「朝スパッ!」にレギュラー出演中。

*講師の都合や天候などによって変更となる可能性があります。
参加ご希望の方は、事前に関西福祉大学ホームページ、または事務局までお問い合わせください。



教育とは何か

人生の意味を問い、〈本来の自己〉に目覚める

社会福祉学部 講師

光田尚美 先生



「人間は教育によってのみ人間になることができる」とは哲学者Kantの言明である。彼に倣えば、教育とは「人間を人間たらしめる」こと、すなわち人間生成のはたらきであり、人間にとって必要不可欠なものであるといえる。

「人間を人間たらしめる」とはどういうことか。同じ言葉ではあるが、前者の「人間」とは万人に共通の「ひと」、いわば生物学的な人間を意味し、後者は独自の存在としての、また価値的な意味での人間が意図されている。ここではそれを「人格的存在」と呼ぶ。

それでは、「人格的存在たらしめる」教育とはどのように理解されるのか。Folmer, W.に拠ると、教育は人間存在の在り方によって複層的に考察されるという。

まず、生物学的存在に着目する。Portmann, A.

に確認されたように、愛護と助力に依存しつつ環境世界に適応すべく学習しなければ生きていけないという、人間の成長・発達の特異性が示される。ここでの教育は、「発達や適応への援助」として理解される。

人間はまたその「生物学的欠陥存在」(Gehlen, A.)ゆえに、長い歴史のなかで道具や制度などの文化を生み出してきた。それは共同体の生活に定着し、やがて共同生活において従うべき社会規範や秩序を形成していった。人間は、こうした文化的な環境のなかで生きていかなければならないのである。このことは、属する共同体に特有の文化を獲得し、さらに後続の世代に伝達することを求める。ここにおいて教育は、「文化的組み込み過程」(Folmer, A.)や「方法的社会化」(Durkheim, E.)として理解される。

しかし、Scheler, M.が「人間に成るといふことは、精神の力によって世界への開放性へと高まること」と述べたように、「私」という個性的な存在は、習得した規範や秩序にただ漫然と従うのではなく、その本来の価値や意義に目覚めてはじめて実現する。例えば芸術作品に触れて美の理念に気づくように、「私」自らが価値や意義を洞察し、愛するようにならねばならない。ゆえに教育は「理念的なるものへの精神的覚醒」(Folmer, A.)としても理解される。

そのうえでFolmerは、「私」が人生の意味を問

い、〈本来の自己〉に目覚めることを要請する。しかし、我々が人生の意味に向き合うのは、一回限りの有限な人生を自覚する機会によるところが大きい。例えば病氣や怪我、あるいはかけがえない人との死別など、これまでの生活が一変するほどの「危機」(Bollnow, O.F.)にあると我々は大きな不安を抱くのだが、その只中での決断の瞬間が〈本来の自己〉への転回の契機であるとされる。

とすれば、人間の完成には「危機」のような限界状況の体験が必要なのか。Folmerはここでの教育の根本現象として、「教育的出会い」に言及する。それは、人生の意味をすでに自覚した者がいまだ目覚めていない者や喪失してしまった者を人生の意味の自覚へと導くという、人格的な意志関係として説明される。そしてこの「教育的出会い」は、教育的意図に無自覚な者同士が自ら気づくということでは成り立ちえず、意図的計画的に引き起こすことはできない。人格的存在たらしめる教育とは発達や適応の援助、文化の伝達、精神的覚醒などのはたらきを土台にしながら、しかし、これまでの次元の教育の限界を指摘するのである。養育家庭や学校を離れての生活現実の諸現象におお、人間形成論的な意味がある。これらの意味に自ら気づき、〈本来の自己〉に目覚めるといふ教育過程を、我々は生涯を通して歩み続けなければならないかもしれない。

災害復旧 ボランティア派遣

この度の台風9号により被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。
 本学では、兵庫県の佐用町や宍粟市など大学と関係の深い近隣地域で、多くの方々が被災されたことを重く受け止め、8月12日附属地域センターに『台風9号被害における災害ボランティア本部』を設置しました。災害復旧ボランティア派遣と義援金・救済物資の募集を開始し、募集された義援金については、「兵庫県台風9号被害義援金募集委員会」に寄託させていただきました。

災害復旧ボランティアには、夏休み期間中ではありましたが8月12日～31日の間の7日に延べ89名の在学生・教職員が参加しました。

派遣先は高齢者宅が多く、被災された方々はボランティアに作業の指示を出すことも難しいくらいシヨックを受けて困惑しておられました。そんな中で、学生たちは当日一緒に活動を行う初対面の方々と協力し合いながら、言われた範囲以上に自ら活動の場を拡げ、住宅の床下や田畑など敷地内に流れ込んだ汚泥の除去、建物の清掃など様々な作業をこなしました。また、派遣先では偶然にも他府県で消防士として活躍している卒業生の方と一緒に作業することもあり、学生たちにとっては、ボランティアに参加しておられる社会人の方々と被災された地域の方々との交流を通して、人の役に立てたという達成感だけでなく、心と心の繋がりの尊さを実感できる貴重な経験となりました。



災害ボランティア本部	総括責任者	岸井学長
	副責任者	平松地域センター長
	担当者	佐藤助教、作本職員

剣道部女子が3年ぶり4度目の 全国大会出場

去る9月20日(日)、大阪市中央体育館において関西学生剣道優勝大会及び関西女子学生剣道優勝大会が開催されました。その結果、女子が3年ぶり4度目の全国大会出場を決めました。

そして11月8日(日)、愛知県春日井市総合体育館にて全日本女子学生剣道優勝大会が開催されました。本学は1回戦で中四国地区代表の聖カタリナ大学と対戦し、健闘しましたが惜しくも敗退しました。

今回の大会出場にあたり、校友会・教育後援会・教職員親睦会から多額の援助金をいただきました。応援・ご支援をいただきました皆様に心より御礼申し上げます。



吹奏楽部

兵庫県吹奏楽コンクール
銀賞

姫路市教育委員会
奨励賞

をW受賞!!

8月8日(土)、姫路市文化センターにおいて開催された兵庫県吹奏楽コンクールにて、吹奏楽部が銀賞を受賞しました。また、今年と同時に姫路市より教育委員会奨励賞を贈られ、栄えあるW受賞となりました。



よさこい サークル

私たち「よさこいサークル」天舞は現在2・3年次生の女子23名で活動しています。

部長をはじめ全員がよさこい初心者ですが、楽しく練習しています。

学内では、大学祭の演舞や模擬店、学外では施設訪問やよさこい祭りへの参加等を通じて、多くの方々と交流を図っています。

今後も練習を重ね、よりよい演舞を多くの方々に観ていただけるよう活動の幅を広げていきたいと思っています。



今年の大学祭では、キレの良い動きで真っ赤な羽織を翻しながら前夜祭を盛り上げてくれた天舞のみなさん。ピシッと揃った動きと、可愛い笑顔が印象的でした。

ハンドベル サークル

私たちハンドベルサークルは、毎週火・水曜日に活動しています。

また、多くの方々にハンドベルの素晴らしさを知ってもらいたいと、月1回昼休みに円形広場でミニコンサートを開催しています。

今年はオープンキャンパスに参加し、来場者の前で演奏を披露し、多くの拍手をいただきました。

これから本番のクリスマス・シーズンには、たくさんさんの演奏依頼をいただいております。

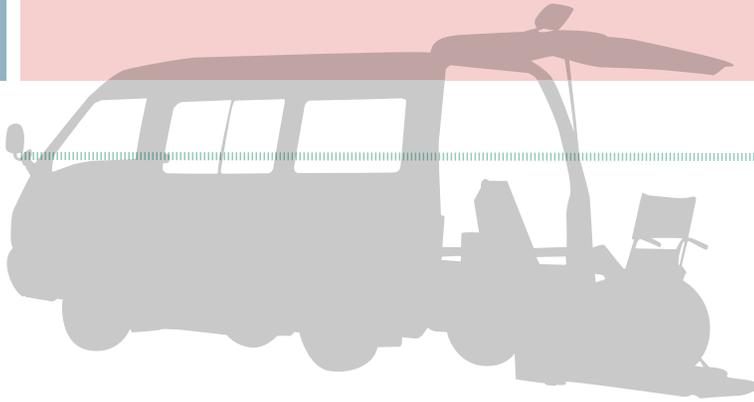
現在部員は15名。みんな個性が強いながらも、練習ではひとつの目標に向かって進んでいます。これからも練習を積み、たくさんさんの人たちに楽しんでいただける演奏をしていきたいと思っています。



学内に柔らかなハンドベルの音が響きはじめると、昼食を持った学生たちが円形広場に集まって、演奏を聴きながら優雅なランチタイムを過ごしていました。またハンドベルだけでなくトーンチャイムという楽器を使った演奏もあり、本当に癒されるひとときです。



私と仕事



矢山 修さん

6期生(2005年度卒業)

アースサポート株式会社
大阪営業所
所長

関西福祉大学を卒業して、気が付けば4年が過ぎました。学生時代は大学祭実行委員長として、今までにない新しい大学祭り、そして大学祭の成功のために奮起していました。

そんな大学祭実行委員のような熱い思いをもって働きたいと就職活動を進める中で出会ったのがアースサポート株式会社のアースサポート株式会社でした。アースサポート株式会社は、主に在宅サービスを中心とした介護業界では大手の民間企業です。

この会社、とにかくすべての動きが早い。そして働くスタッフが生きいきと熱くキラキラしています。その理由は、代表を始め働く皆が常に新しいことに挑戦し続け自発的に働いているからです。私は総合職として入社し、1年目は営業グループに配属され、3年目には関西第一ブロック営業グループ主任として兵庫

入社した当時

は、当たり前ですが右も左も分からず、ただ全力で走り続けるだけでした。ただ心のどこかに「自分は大学時代、大学祭実行委員長もやっていたし何とかなるだろう。あわよくば最初からチャンスが多く回ってくるのではないか。」といった思いを抱きながら仕事に就きました。しかし、そんな思いは入社して1ヵ月で打ち砕かれました。完全に「井の中の蛙」状態です。それから4年間、とにかくがむしゃらに働き続けました。誰よりも実績を残し偉くなりたいという強い思いがありました。

大学には、これから就職活動を始め方もいれば、4月から新社会人を迎える方もいると思います。皆さんにメッセージを残すとすれば、学生時代に学んだことや経験したことは非常に

大事です。しかし、これから社会人として新しいスタート切る上で、その経験は一旦しまい込んで下さい。思い出つくりも大事ですが、より高い視点を持ち「早く出世したい。」という気持ちを持っている人は自分自身のスキルアップのため勉強してください！
そうすれば、素敵な社会人ライフが待っているかも・・・。





竹内 有希さん

2期生(2001年度卒業)

医療法人 関谷会
介護老人保健施設シルバーセンター-関谷苑
支援相談員

関西福祉大学を卒業して、7年が過ぎました。現在私は岡山県の備前市にある、介護老人保健施設シルバーセンター関谷苑で支援相談員として、元気に勤務をしています。

老人保健施設での支援相談員として、サービスを希望されるご利用者様・ご家族様に対する相談援助・面接、サービスの契約調整、苦情処理、レクリエーションの指導、在宅復帰を目指すご利用者様へのアプローチ、ボランティアの養成と多岐にわたる業務をこなしています。施設でいうと、入口と出口の仕事を主に担い、多くの人々と関わる中で、「熱い心と冷たい頭」の必要な本当に難しい仕事だと実感しています。ですが、最近では少しずつ心にもゆとりができて、楽しんで仕事をしています。

施設に入職した当初は、同一法人内の通所リハビリテーション事業所で、介護職員と支援相談員をしながら、ご利用者様とのかかわり方、入浴・排泄・食事などの介護、医療面、リハビリテーションの役割、介護保険制度等を勉強しながら、日々の業務に追われ、心にゆとりなく対応していました。心にゆとりのなかった私は、社会人としての厳しさを知り、自分が十分に対応できないことへの苛立ちや無力さを感じ、一時仕事に対する意欲を失い、これまでにない壁にぶつかったこともありました。そんな時、私を理解し、励まし、共

感してくれたのは、仲間・先輩・ご利用者様の存在でした。困っている私に仲間が助言を与えてくれたり、先輩やご利用者様が厳しい言葉や優しい言葉をかけてくださったり、指導していただきながら、壁を乗り越え、楽しく仕事ができるようになりました。この経験から、仲間の助言、先輩やご利用者様などの多くの人の支えがあつて自分自身が成長しているのだと感じました。また、さまざまな人とのつながりの大切さを感じました。ご利用者様との絆はもちろん、仲間とのポジティブな関係があつて、質の高いケアが提供できると思います。

そのような自分自身の仕事の経験をふまえながら、本来老人保健施設は在宅復帰の場として、目標を達成するために、ご利用者様の心身状態の回復、家庭環境や制度などの環境のさまざまな要因など複雑に絡みあう問題に対し、支援相談員として相談にのり、調整を行うことを繰り返して、サービス利用をさせていただくことで、少しずつ解決につなげていかなければなりません。いくら自宅に帰りたいたいと思っても、それを叶えるのは難しい問題に直面していることも多くあります。また、その人自身の抱える生活の背景や人間模様を垣間見ることがあります。そのようなときに、逆に利用者様の希望や訴えを傾聴し、受け止め、ひとつでも願いが叶うように「夢」や「希望」に少しでもつながるのが、私の支援相談員の役割だと7年間仕事をしてきて感じて、います。「夢」や「希望」につなぐために、その人を助けたいという熱い心を持ち、どうしたら援助できるかということを冷静に判断しながら、分析していく力を備える必要があります。そのためにはひとつのことだけにとらわれず、柔軟で広い視野を持たなければなりません。広い視野をもつために、さま



ざま勉強をしながら、5年目で介護支援専門員の資格をとりスキルアップをし、趣味で気分転換を図りながら、より幅広い人とのつながりを作ることで、自分の知識・経験を重ねています。私が今老人保健施設の中で、支援相談員として、100点満点の答えが出せているかどうかはわかりません。しかし、ご利用者様の気持ちに寄り添い、少しでも「あなたに相談したから一歩が踏み出せた、ありがとう」と感じていただける支援相談員になればと日々感じながら今後も仕事をしたいと思っています。最後にになりましたが、先輩の皆さん、大学生活の4年間はあつという間だと思えます。その中で、自由な時間が持てるのは今だけです。趣味でも勉強でも何でもよいと思います。よく遊び、よく学び、しっかりと多くの知識と経験をし、それを自分の糧にし、将来の自分に生かしていただけるように大切に過ごしてください。同じ福祉の現場で切磋琢磨していける仲間として育ってくださることを期待しています。

校 友 インタビュー

- Q1…担当している業務について Q2…学生と社会人との意識の違い Q3…業務における今後の抱負
 Q4…現在の目標について Q5…休日の過ごし方 Q6…後輩へのアドバイス



山本 詩織さん
 (福)鳥取こども学園 希望館通所部門
 児童指導員

Q1 鳥取こども学園 希望館の通所部門は、児童福祉施設であると同時に地域の小・中学校の分教室・分校でもあります。私ほこども中学生の学習補助や新しく通所措置になった子どもの個別対応などを担当しています。グループワークなどの様々な活動を通して子どもたちが社会的スキルを身につけることができようよう、小・中学校の先生方と協力し合って支援しています。

Q2 子どもに対しては常に「一人一人」としての対応が求められます。食事マナーや言葉使いなど、細かいところまで子どもの手本となるような言動をするよう心がけるようになりました。また、そのひとつひとつの言動に対する責任の重さを感じています。

Q3 社会人となって半年が経ち、私に任せていただける仕事も徐々に増えてきましたが、今の自分は知識・経験ともにまだまだ不十分です。積極的に様々な仕事を経験させていただき、子どもの直接処遇に関する知識・技能を早く身につけたいと考えています。そして、これからは支援の中に少しずつ自分らしさも組み込んでいけたらと思っています。

Q4 将来的には、入所部門のホーム職員になりたいと思っています。子どもの家庭代わりであるホームでは、通所部門とは違い、子どもたちは様々な顔を見せてくれると思います。時には子どもと正面からぶつかり合い、子どもの素直な思いを受け止めていきたいです。ホーム職員として年数を重ね、子どもたちの母親的存在となることが将来的な目標です。

Q5 休日は、友達と車でちよっと遠出します。買い物をしたり、食事したり、大好きなパン屋さんを巡ったりしています。行ったことのない場所へ行き、新しくお気に入りのパン屋さんを見つけるのが楽しみです。

Q6 卒業生の多くが言われていると思いますが、学生の間に本当にたくさんを経験しておいてください。勉強もボランティアもアルバイトも旅行も恋愛も。社会人になったら時間が無いという理由もありますが、子どもと関わっていく上では、自分の経験談として話すことができます。自分の経験を踏まえて子どもたちにアドバイスすることができ、説得力のあるものになります。



乾 正雅さん
 (福)清章福祉会
 特別養護老人ホーム清佳園
 介護職・社会福祉士

Q1 入居されている利用者さんの入浴・排泄・食事等の身体的ケア、傾聴等の精神的ケアの提供を行っています。また、先輩職員の方々と協力し、入居されている方々が、毎日その人らしい生活を送れるように支援しています。

Q2 昔からの高齢者施設で働きたいという夢が叶い、毎日がとても充実しています。学生の頃は「この人たちのために何ができるのか」という思いで勉強していたのに対し、今では「この人たちと一緒に」という意識に変化していく自分を日々実感しています。

Q3 どのような業務場面においても利用者の方を第一に考え、この援助が本当に利用者の方の幸せに繋がっているのか、ひとつひとつを見つめ直していければと考えています。

Q4 直近の目標は生活相談員となり、広い視野で利用者の方やご家族の方を支援することです。また、今後継続的に目標としていきたいことは、「この施設を利用して良かった」「また来たい」など、利用者の方にももちろんご家族の方からも感謝していただけるように施設サービスを充実させ、提供できるようにがんばりたいと思っています。

Q5 休日は家でゆっくりと過ごすことが多いです。心身ともに疲労する職業なので、十分にリフレッシュできるように友人と話をしたり、ゆっくり熱帯魚を眺めたりしています。また、1人になって頭の中を整理し、次の業務に向けて目標を定めたりしています。

Q6 学生生活では、遊ぶときは友人たちと心の底から楽しめ、資格取得のための勉強も精一杯するなど、メリハリのある生活をして欲しいと思います。また、色々なことにチャレンジして、後悔のないように残りの時間を有意義に過ごしてください。



家塚 優さん
 (株)アブリシエイト東淀川店
 リーダー(施設長補佐)

Q1 私が勤めている会社では、社会的入院や廃用症候群、高齢化など社会全体が抱える問題を解決するために、誰もが購入できる高齢マンションを運営し、介護・医療のサポートを行っています。そこで私は2009年7月にオープンした東淀川店のリーダーとして勤務しています。介護業務以外にも、スタッフのマネジメントやスタッフが働きやすい職場環境を作るための業務改善、また皆様に当社を信頼していただけるようイベントや広報誌の作成など様々な仕事を行っています。

Q2 社会人になり目標を持って毎日を過ごす事ができるようになりました。学生時代は「国家試験に合格する」など自分のための目標がほとんどでしたが、社会人になり「困っている高齢者の方を一人でも多く救いたい」という自分の働く軸にあたる大きな目標を持つことができました。他人の幸せや安心を作っていく仕事には「責任」も伴いますが、とてもやりがいがあることだと思っています。

Q3 店舗のリーダーとして一緒に働くスタッフはもちろん、入居者様・ご家族様・外部業者など多くの方と関わりをもつ機会があります。その様な方々から信頼される人物となり、「この店舗(職場)は安心できる」と感じていただける店舗を創っていきたくと考えています。

Q4 全国の「高齢者住宅の基盤」を作り上げていきたいと考えています。そのためにまず「施設長」というワンランク上の目標を意識しています。私が働いている会社では人材育成力を入れており、社員教育の一環で「施設長試験」があります。2・3年目の社員であっても施設長として施設運営を任せてもらえるチャンスがあり、責任重大ですが非常に魅力的なことだと思っています。

Q5 休日は一緒に働く仲間と遊びに出かけています。女性社員同士でスポーツや小旅行に出かけることもあり、10月には社員旅行もありました。仕事とプライベートは分けていません。プライベートでも社員の方と楽しく仕事の話ができる環境があり、悩みや不安などを相談できるのが、辛いことがあっても負担が軽減されやすくて相談しています。休日であっても、すぐに応えてくれる上司・先輩・同期がいることが、心強いですね。

Q6 就職活動では自分の譲れない条件を持って望んで欲しいと思っています。「働く」ことは、これからの人生の中で最も時間と力を費やす部分になります。そんな人生の大半を占める仕事を選ぶ上で、重要となるのが「自分の譲れない条件(目標・信念)」です。その条件を基準に会社を選ぶことで、辛いことがあっても負いずにかんばることができると思っています。就職活動中は、できるだけ多くの企業や施設の話聞いてください。社会人から様々な価値観や意見を聞き、そこから生まれる軸もあります。まずは行動すること、そこから始めてはいいかでしょう。

平成21年度事業計画・収支予算

平成21年10月25日(日)、平成21年度関西福祉大学校友会総会が開催され、平成21年度事業計画および収支予算について協議、決定されました。

平成21年度事業計画

- 会務**
 - 総会 1回開催予定 10月、汐風祭時
 - 理事会 3回開催予定 事業計画、当初予算、事業報告、決算等
 - 幹事会 3回開催予定 事業計画、当初予算、事業報告、決算等
 - その他 10周年記念プロジェクト等
- 正会員に対する活動**
 - 名簿の発行 (6) ホームカミングデー
当該年卒業生の住所録として発行 (7) 結婚式祝電サービス
 - 会報の発行 年2回発行 (8) 国家試験受験対策セミナー
 - ホームページの更新、SNSサイト運用 (9) 恩師との相談会開催
 - 支部の助成活動等会員相互の交流促進 (10) 海外研修プログラムへの助成
 - 個別校友会に対する助成活動
- 母校、在学生に対する支援**
 - 大学祭、課外活動団体等に対する助成
 - 大学の事業・行事への協賛
 - 学章・校友会員章贈呈等
 - 奨学金制度の運営
 - 海外研修プログラムへの助成
- 校友会館および事務局の整備**
 - 卒業生データ管理システムの整備
 - 備品、消耗品等の購入
- その他**
 - 会員の慶弔および親睦、見舞い、弔電、供花等および懇親会
 - 研究活動 研究会開催支援等
 - 中・長期的課題 次期事業計画
 - 他大学からの情報収集活動
 - 卒業後の会員の動向調査について
 - その他

1.収入の部

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)
(単位:円)

科目	本年度予算	前年度予算	増減	備考
1 会費収入	40,720,000	42,830,000	△2,110,000	・在学生 1309名 社会福祉学部 (1年 179名、2年 244名、3年 266名、4年 254名) 看護学部 (1年 103名、2年 91名、3年 92名、4年 80名) 1,309名×30,000円=39,270,000円 ・編入生 9名 社会福祉学部(4年2名) 看護学部(3年5名、4年2名) 9名×60,000円=540,000円 ・専任教職員 91名 91名×10,000円=910,000円
2 前年度繰越金	110,385,043	83,539,029	26,846,014	
3 雑収入	0	0	0	
(1) 受取利息	(0)	(0)	(0)	中国銀行 赤穂支店 普通・定期預金
合計	151,105,043	126,369,029	24,736,014	

2.支出の部

科目	本年度予算	前年度予算	増減	備考
1 事務費	7,750,000	8,310,000	△560,000	
(1) 人件費	(4,000,000)	(3,900,000)	(100,000)	事務局契約事務職員人件費
(2) 消耗品費	(300,000)	(330,000)	(△30,000)	事務用品等
(3) 旅費交通費	(700,000)	(500,000)	(200,000)	理事会・幹事会、プロジェクト等出張費
(4) 印刷製本費	(400,000)	(1,500,000)	(△1,100,000)	校友会資料、SNS、総会案内等
(5) 諸会費	(50,000)	(50,000)	(0)	セミナー受講料
(6) 報酬手数料	(100,000)	(0)	(100,000)	ホームカミングデー等アルバイト代
(7) 新聞雑誌費	(50,000)	(50,000)	(0)	書籍
(8) 通信費	(1,000,000)	(900,000)	(100,000)	校友会資料、会報、名簿、SNS、総会案内等発送
(9) 会議費	(300,000)	(200,000)	(100,000)	理事会・幹事会、プロジェクト等会議費
(10) 渉外費	(100,000)	(100,000)	(0)	他大学等調査経費・粗品・謝礼
(11) 備品費	(500,000)	(500,000)	(0)	備品購入等(パソコン等)
(12) 慶弔費	(50,000)	(80,000)	(△30,000)	校友会員見舞金
(13) 雑費	(200,000)	(200,000)	(0)	振込手数料
2 事業費	13,155,000	5,000,000	8,155,000	
(1) 名簿作成費	(200,000)			名簿作成
(2) 会報作成費	(900,000)			会報(年2回)作成
(3) 助成費	(3,501,000)			大学祭、課外活動、個別校友会、ホームカミングデー、海外研修プログラム、結婚式祝電サービス、各種セミナー、相談会等
(4) 支部助成費	(304,000)			支部運営助成、支部設置準備
(5) 奨学費	(2,950,000)			緊急奨学金
(6) システム管理費	(5,300,000)			SNS、ホームページ、卒業生データ管理システム
3 予備費	30,000,000	30,000,000	0	
4 校友会設立10周年積立金	5,000,000	5,000,000	0	下記参照
5 次年度繰越金	95,200,043	78,059,029	17,141,014	
合計	151,105,043	126,369,029	24,736,014	

3.各種積立金

積立年度	校友会設立10周年記念積立金
20年度	5,000,000円
21年度	5,000,000円
合計	10,000,000円

平成20年度事業報告・収支決算

平成21年10月25日(日)、平成21年度関西福祉大学校友会総会が開催され、平成20年度事業報告および収支決算について報告、承認されました。

平成20年度事業報告

- 会務**
 - 総会
 - 第1回 平成20年10月26日(日)
平成19年度事業報告、平成19年度収支決算・会計監査報告
平成20年度事業計画、平成20年度収支予算
会則の一部改正
新役員選出・役員改選結果報告
 - 理事会・幹事会
 - 第1回 平成20年6月29日(日)
平成19年度事業報告、平成19年度収支決算・会計監査報告
旅費規程の一部改正、個別校友会活動助成について
新役員選出・役員改選結果報告
第2回 平成20年10月26日(日)
会則の一部改正および支部会則について
慶弔規程の一部改正
東海支部の設置について、SNSの導入について
総会提出議案について
第3回 平成21年3月8日(日)
平成21年度事業計画、平成21年度収支予算
校友会報第13号について
 - 正会員に対する活動
 - 名簿の発行 当該年卒業生の住所録として発行(12月15日)
 - 会報の発行 年2回発行(5月20日、10月1日)
 - 東海支部設置 平成21年2月28日設立
 - 個別校友会活動への助成 2件(5月、8月)
 - ホームカミングデー(10月25日、26日)
 - SNSの導入
- 母校、在学生に対する支援**
 - 大学祭イベントへ景品寄贈(液晶テレビ)
 - 大学事業・行事への協賛(10周年記念事業への協賛)
 - 学章・校友会員章贈呈(卒業式、入学式にて贈呈)
 - 奨学金制度の運営(3名給付)
 - 課外活動への助成(剣道部、金光大阪高等学校野球部)

1.収入の部

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)
(単位:円)

科目	予算	決算	増減	備考
1 会費収入	42,830,000	42,880,000	50,000	平成20年度収入 ・在学生 1,389名×30,000=41,670,000 ・編入生 8名×60,000= 480,000 ・教職員 73名×10,000= 730,000
2 前年度繰越金	83,539,029	83,539,029	0	
3 雑収入	0	129,168	129,168	
(1) 受取利息	(0)	(129,168)	(129,168)	中国銀行 赤穂支店(普通・定期預金)
合計	126,369,029	126,548,197	179,168	

2.支出の部

科目	予算	決算	増減	備考
1 事務費	8,310,000	5,601,357	△2,708,643	
(1) 人件費	(3,900,000)	(3,979,440)	(79,440)	事務局契約事務職員人件費
(2) 消耗品費	(330,000)	(166,927)	(△163,073)	事務用品、テント等
(3) 旅費交通費	(500,000)	(243,036)	(△256,964)	理事会・幹事会等役員出張費他
(4) 印刷製本費	(1,500,000)	(683,938)	(△816,062)	校友会資料印刷、名簿・会報(年2回)作成等
(5) 諸会費	(50,000)	(0)	(△50,000)	セミナー受講料
(6) 報酬手数料	(0)	(0)	(0)	
(7) 新聞雑誌費	(50,000)	(0)	(△50,000)	書籍
(8) 通信費	(900,000)	(421,566)	(△478,434)	校友会資料、会報、名簿等送付料
(9) 会議費	(200,000)	(57,890)	(△142,110)	理事会・幹事会等会議費用
(10) 渉外費	(100,000)	(0)	(△100,000)	他大学等調査経費・粗品・謝礼
(11) 備品費	(500,000)	(0)	(△500,000)	備品購入等(パソコン等)
(12) 慶弔費	(80,000)	(25,480)	(△54,520)	会長葬儀玉串料、校友会員供物
(13) 雑費	(200,000)	(23,080)	(△176,920)	振込手数料等
2 事業費	5,000,000	2,191,086	△2,808,914	・支部設立準備金 24,000 ・支部助成 72,000 ・奨学金 860,000 ・インターネット関連(ホームページ更新、SNS導入関連等) 730,172 ・各種助成(大学祭、課外活動、個別校友会等)、ホームカミングデー 504,914
3 予備費	30,000,000	3,370,711	△26,629,289	10周年記念事業 2,887,211、 喫茶タイム部分不動産取得税 483,500
4 校友会設立10周年積立金	5,000,000	5,000,000	0	下記参照
5 次年度繰越金	78,059,029	110,385,043	32,326,014	次年度繰越金内訳: 普通預金 109,428,715円 郵便振替口座 457,530円 小口現金 498,798円
合計	126,369,029	126,548,197	179,168	

3.各種積立金

積立年度	校友会設立10周年記念積立金
平成20年度	5,000,000
合計	5,000,000

平成21年度 **人事異動** 平成21年5月1日～平成21年10月31日

	日付	所属	職名	氏名
採用	H21.6.1付	職員	図書館	西本 朱美
	H21.10.1付	職員	事務局次長	下村 進
退職	H21.5.31付	職員	図書館	白井 里恵
	H21.7.31付	職員	入試広報	山本 尚代
	H21.9.30付	職員	企画室	中野紗希子
昇任	H21.6.1付	社会福祉学部	准教授→教授	平松 正臣
	H21.10.1付	看護学部	助手→講師	森崎 直子
			助手→助教	井田 歩美
助手→助教			松井 学洋	

原稿募集

- 校友会員の各種集い、部・サークルのOB会、ゼミ同窓会などの様子をお知らせください。
- 会員の皆様それぞれの仕事の内容や仕事上の悩み・喜びなど、1000字程度 of 原稿をお寄せください。
- 校友インタビュー・校友ネットワークに登場していただける校友を募っています。自薦、他薦を問いません。事務局までご連絡ください。
- 記事の雰囲気を伝える写真、筆者の近影などがあれば添付してください。写真は発行後返却します。
- 原稿及び写真の採否は事務局に一任ください。
- 原稿の加筆、修正、削除などをお願いする場合があります。
- 校友会会報企画・編集に興味のある方は事務局までご連絡ください。
- その他、校友会へのご意見などもお寄せください。

(事務局)

校友会報 第14号

- 発行日 平成21年12月10日
- 発行所 関西福祉大学 校友会

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3
 TEL 0791-46-2525 (大学代表)
 TEL 0791-46-2847 (校友会事務局)
 FAX 0791-46-2615
 ☒ koyukai@kusw.ac.jp

大学HP：
<http://www.kusw.ac.jp/>
 校友会HP：
<http://www.kusw.ac.jp/koyukai/index/index.html>

平成22年度
関西福祉大学大学院入試概要
[社会福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程]

■試験の種類

- 一般入学試験：英語・専門科目・面接 [研究計画書参考]
- 社会人入学試験：小論文・面接 [研究計画書参考]
- 外国人留学生入学試験：専門科目・面接

■全試験共通事項

専攻	課程	修業年限	募集定員
社会福祉学専攻	修士課程	2年	10名

■試験日程

	Ⅱ期
出願期間	2010年1月25日(月)～2010年2月8日(月)消印有効
試験日	2010年2月13日(土)
合格発表日	2010年2月19日(金)

■試験会場

本学：〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3

詳細は、関西福祉大学 入試センター
 TEL.0791 (46) 2500までお問い合わせください。

兄弟姉妹特別奨学金制度 (平成22年度新設)

平成22年度入学試験に合格した入学志願者の兄弟姉妹が、次の1または2の何れかに該当しているとき、入学後入学者本人の申請に基づき、入学金の2分の1相当額を奨学金として給付します。

1. 関西金光学園の設置する学校 (関西福祉大学<大学院含む>・金光藤蔭高等学校・金光大阪中学校・高等学校・金光八尾中学校・高等学校) に在籍 (平成22年3月卒業予定含む) している。
2. 関西金光学園の設置する学校の平成22年度入学試験を兄弟姉妹2名以上で受験し、合格後2名以上が同時に入学する。

	社会福祉学部	看護学部	大学院 社会福祉学研究科
給付額	12万円	14万円	12万円

ひとくちメモ

開学……………平成9年(1997年)4月
 開設(大学院)……………平成21年(2009年)4月
 学部・学科……………社会福祉学部・社会福祉学科
 社会福祉専攻 子ども福祉専攻
 看護学部・看護学科

大 学 院……………社会福祉学研究科
 学 長……………岸井 勇雄
 教 員 数……………専任 72名
 職 員 数……………51名
 学 生 数……………1,327名
 卒 業 生 数……………累計 2,414名
 社会福祉士合格者数……………9期累計860名
 精神保健福祉士合格者数……………9期累計167名
 敷 地……………59,674 m²
 延 床……………19,745 m²

平成21年10月1日現在